



飯塚鎮西中通信

夢や志をもち、やさしく・かしこく・たくましい鎮西児童生徒の育成

飯塚市立飯塚鎮西中学校
令和6年2月28日
校長 吉田 浩昭

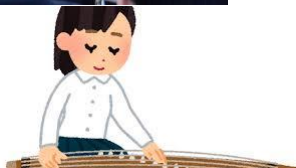
8年生人権教育 白井さん親子に学ぶ

2月21日(水)に8年生はマリンバ奏者である白井小百合さんとお母さんである浩子さんをお招きして、障がい者差別を考える学習を学年全体で行いました。小百合さんはダウン症で障がいとしては知的区分には入りません。楽譜から音を理解することは難しく、耳から聴いた音をもとにマリンバの練習をしているそうです。小百合さんの演奏を実際に聴いた時、演奏の正確さと感情あふれる音色に驚かされ、生徒のまなざしは演奏する小百合さんに吸い寄せられていました。そして、浩子さんのお話はとても心に響きました。中でも「障がい者だからと言ってすべてできないわけではない。小百合はマリンバができる。でもできないこともある。そのできないことを他の人に手助けしてもらいながら生きている。それは、みんなやっていること。」というお話が強く心に響きました。障がいを持っているから何もできないという間違った考えを捨て、互いのよさを認め合い、困っていることには手を差し伸べる。そうすれば、みんながしあわせに生きられる「共生」の社会が創られるのだと改めて思いました。8年生の真剣なまなざしや態度から白井さん親子の音楽と言葉によるメッセージをしっかりと受け止めてくれたものと確信しています。とても有意義な学習となりました。



9年生も箏の学習 すごい集中力

8年生に引き続き、9年生も2月8日(木)から各学級3回、箏の学習を行いました。9年生が練習した曲は、合唱曲によく使われる「Believe」です。通常では和楽器である箏で弾くのは難しいのですが、講師の方が、五線譜の曲を和楽器楽譜に変換してくださり、演奏することができました。聞き覚えのある曲ということもあり、生徒の集中力は高く、真剣な態度で箏の演奏に挑んでいました。そして、2月29日(木)3月1日(金)には箏と並行して学習してきたリコーダーとギターも交えた発表会を学級ごとに行う予定です。どのような演奏が行われるのか楽しみです。



部活動等結果

【県】駅伝 男子 21位
インフルエンザで万全ではない中、よく頑張りました。



7年生花植え 卒業式には花で祝福

2月19日(月)に7年生が花植えを行いました。植えた花は「ピオラ」です。7年生は班ごとに分かれて、プランターに土や肥料を入れるところから始め、PTA7年生学年委員会から買っていただいた花を植えていきました。当分は中学部の生徒昇降口付近に置き、卒業式の日には、卒業生用の通路に置く予定です。式当日、7年生は卒業式には参加しませんが、色とりどりの花によって、9年生を祝福します。



9年生学び舎への感謝を込めて愛校作業



9年生は、2月22日(木)に愛校作業を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、9年生の教室・廊下を中心に、玄関、生徒昇降口等を丁寧に掃除し、9年間お世話になった校舎へ感謝の気持ちを表しました。「立つ鳥、跡を濁さず」という言葉通り、9年生は残る後輩のために校舎をきれいにして、卒業までの日々を過ごします。充実した日々を送ってくれることを望みます。

9年生と7、8年生互いに感謝のメッセージ

2月26日(月)の朝の会で、9年生から7、8年生に、7、8年生から9年生に向けて感謝の気持ちを表したメッセージをそれぞれ贈り合いました。これは生徒会による企画です。送られたメッセージを読んで、9年生には、残り少ない中学校生活で後輩への手本を示してほしいと思います。7、8年生には先輩からの言葉を励みにより一層頑張してほしいと思います。大変心温まる朝でした。



寄贈グローブ 大谷選手が伝えたいこと

メディアで話題になっている大谷選手寄贈のグローブが本校小学部にも届き、中学部でも21、22日にお披露目をしました。小中一貫校のメリットです。野球や大谷選手に興味・関心のある生徒は嬉しそうにグローブを手にしていました。大人でも大谷選手から送られたグローブを手にとるとワクワクします。それは、高校時代に「160kmを投げ、メジャーに行く」という目標のためにマンガラシートを作成・実践し、無理だと言われながら二刀流を貫いてプロ入り活躍している大谷選手からの贈り物だからでしょう。大谷選手からのグローブからは「夢をあきらめず、努力を続けてほしい」「志を貫いてほしい」という大谷選手の思いを感じます。生徒にもグローブに込められた大谷選手の思いを考えてほしいと思います。